学校番号	３２３

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	「精選国語総合」　（東京書籍）						
副教材等	新訂総合国語便覧　新版六訂（第一学習社） 論理的に考える ＬＴ現代文 ＬＴ１（浜島書店） 新常用漢字必携 パーフェクトクリア（尚文出版） 見て覚える　読んで解ける　古文単語 330　新訂版（文英堂） テーマ別　古文ウィニングクリア１（尚文出版） 高校生の古典文法　七訂版（京都書房）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1年生では円滑な日常会話に必要な語彙力や表現力に加え、社会人として必要とされる基礎的な国語の力を身に着けることを目指します。
・論文を読み解いたり小説を味わったりする「読む能力」と共に、コミュニケーションに欠かせない「話す・聞く能力」、意思や情報の伝達に欠かせない「書く能力」を養いましょう。
・授業では確認や発展的活用の為に、生徒間での話し合い、文章記述、発表などのアクティブな活動を行います。
・古典の時間では有名な作品に親しみ、音読を交えて様々な古文や漢文の世界に広く触れましょう。
・単語や文法を着実に暗記して語彙力と文法の知識を身に着けてください。
・文学史的事項で作者について知り、時代背景を確認して古典作品への理解をより深めましょう。
・予習と復習を欠かさないでください。本文を読み、分からない単語を調べるまでは予習の基本です。復習は本時の授業を思い起こして本文を読み直し、問題を解きなおし、人に教えるつもりで説明してみてください。
・提出物は期限厳守です。定期考査に向けて学習計画を立てて勉強しましょう。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に自分の思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ノート、ワークシート、原稿用紙) 定期考査	記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習活動内容	主な評価の観点 a	b	c	d	e	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	評論の内容を理解する1	1 随想的な評論文の読み方を習得する。 2 自己と世界との関わりの中で、無数の未知を発見する旅に出ることができるという筆者の考えをふまえ、これからの高校生活への抱負を新たにする。 教材:今ここにある無数の未知 (石川直樹)	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:自分が世界との関係の中で存在しているということについて理解を深めている。 【読む能力】 d:具体例を挙げることで筆者の主張・思いがより伝わりやすくなることを理解している。 【知識・理解】 e:言葉の意味・指示語の内容・接続詞のはたらき等を、正しくつかんでいる e:論理構成を正しくつかんでいる。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:定期考査
	評論の内容を理解する1	1 「鹿おどし」と「噴水」の特徴を整理しながら、日本と西欧の水に対する感じ方の違いを読み取る。 2 本文の段落構成に注目して、筆者がその主張をいかに効果的に展開させているかを理解する。 教材:水の東西 (山崎正和)	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:日本文化の特徴に関心をもっている。 【読む能力】 d:対比表現を整理して主題を読み取っている。 【知識・理解】 e:言葉の意味・指示語の内容・接続詞のはたらき等を、正しくつかんでいる e:論理構成を正しくつかんでいる。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	小説の内容を理解する 1	1　小説の設定や構造を把握する。 2 「下人」の心情の変化を「老婆」との関わりから読み取り、理解する。 3　作品の主題について考え、まとめる。 教材：羅生門 （芥川龍之介）	○		○	○	○	【関心・意欲・態度】 a:日本の近代文学や、教材の内容に関心をもっている。 【書く能力】 c:作品の主題をとらえ、自分の言葉でまとめられている。 【読む能力】 d:物語の時間や場所、登場人物の設定を的確に整理している。 d:「下人」の心理が老婆との関わりからどのように変化しているかを読み取っている。 【知識・理解】 e:登場時人物の人物設定や情景の描写、比喩などの表現効果を理解している。 e:芥川龍之介とその作品に関して理解している。	a：行動の観察 c：記述の確認 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
	古文入門	1「古典の言葉」を参考にして、歴史的仮名遣いに注意しながら繰り返し音読し、古文の口調に慣れる。 2　児が心の中で思ったことに注意して児の心理を想像し、話のおもしろさを味わう。 教材：児のそら寝 （宇治拾遺物語）	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:語句や表現に注意して文脈を捉え、まちがいなく、過不足なく、読み取ろうとしている。 a:古文を学ぶ意義を理解し、日本古典文学の価値に気づこうとしている。 【読む能力】 d:登場人物の心情を想像しながら、話のおもしろさを味わっている。 d:登場人物の行動とその理由を読み取り、『羅生門』との類似点・相違点を指摘している。 【知識・理解】 e:基本的な歴史的仮名遣いと、その読み方を理解している。 e:古語辞典の使い方を理解し、活用している。 e:現代語訳の注意点を理解し、適切に訳している。 e:動詞の活用について理解している。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
	古文の基礎的知識を学ぶ	1 古文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 2 古文と現代文の違いを理解し、今後の学習のポイントを把握する。 3 伝統的な言語文化への興味・関心を広げ、古典を尊重し継承していく態度を育てる。 教材：古文の学習	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:今後の古文学習に意義を見出している。 a:我が国の伝統的な言語文化に興味・関心を示し、古典の伝承を担う自覚を新たにしている。 【読む能力】 d:仮名遣い、語彙、文法などの違いに注意して古文を学習していくことを理解している。 【知識・理解】 e:本文中にあらわれた作品名、人名について、参照ページにあたって確認している。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査

	古文の物語を読む 1	1　話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 2　文語文と口語文の違いを理解する。 3　品詞の種類と活用の概念について理解する。 4　係り結びについて理解する。 5　芸術至上主義や職業意識について話し合い、理解を深める。 教材：絵仏師良秀 （宇治拾遺物語）	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:積極的に説話の内容を理解しようとしている。 b:芸術と日常について自分なりの意見を持ち、話し合っている。 d:語句や表現に注意して文脈を捉え、まちがいなく、過不足なく、読み取ろうとしている。 a:古文を学ぶ意義を理解し、日本古典文学の価値に気づこうとしている。 【読む能力】 d:登場人物の心情を想像しながら、話のおもしろさを味わっている。 d:省略された助詞や主語を補って部分的に口語訳している。 d:説話の内容のおもしろさを理解している。 【知識・理解】 e:基本的な歴史的仮名遣いと、その読み方を理解している。 e:古語辞典の使い方を理解し、活用している。 e:現代語訳の注意点を理解し、適切に訳している。 e:動詞の活用について理解している。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
	短詩形文学を味わう	1　詩の鑑賞のしかたを習得する。 2　散文詩に親しみ、イメージの展開をつかむ。 3　生まれることの意味について、自分なりの考えを深める。 教材：I was born （吉野弘）	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:詩を読むことに楽しさや興味を感じている。 【読む能力】 d:詩にこめられた作者の心情を読み取り、説明している。 d:詩の主題を理解している。 【知識・理解】 e:詩の形式や構成、表現効果などについて理解している。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
2学期	小説の内容を理解する 2	1　話の展開に注意して小説を読み、登場人物の心理・行動を的確に読み取る。 3　近代の代表的な小説家の作品を読んで、短編小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。 4　太宰治に対する理解を深める。 教材：富嶽百景 （太宰治）	○	○			○	【関心・意欲・態度】 a:わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 【話す・聞く能力】 b：小説を読んで考えたことを自分の言葉でまとめ、表現しようとしている。 【知識・理解】 e:近代以降の文学史を理解している。	a：行動の観察 b：行動の観察及び記述の確認 e：定期考査

	評論の内容を理解する　2	1 評論に述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取る。 2 他者との関わり方について関心を持ち、考える態度を養う。 教材：聴くということ （鷲田清一）	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:他者との関わりにおいて「聴く」ということの意味について関心を持っている。 【読む能力】 d:「聴く」という行為には聴く者の態度や生き方が問われるという筆者の考えを読み取っている。 【知識・理解】 e:言葉の意味・指示語の内容・接続詞のはたらき等を、正しくつかんでいる e:論理構成を正しくつかんでいる。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
	古文の随筆を味わう	1「形容詞・形容動詞の活用」を参考にして、用言の活用について、現代語と比較しながら理解する。 2『徒然草』の文章を、随筆という形態であることに留意しながら読み味わう。 3 取り上げられている題材は作者のどのようなものの見方・考え方を表現しようとしたものなのかを把握する。 4「助動詞『き』と『けり』」を参考にして、助動詞のはたらきについて簡単に理解する。 教材：徒然草 丹波に出雲といふ所あり	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:随筆という形態を意識して、思考の過程を整理し、文体や語句を工夫しながら適切な表現の仕方で書こうとしている。 a:随筆文学の表現を分析し、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。 a:古文を学ぶ意義を理解し、古典の随筆文学の価値に気づこうとしている。 【書く能力】 c:随筆という形態を意識して、思考の過程を整理し、文体や語句を工夫しながら適切な表現の仕方で書いている。 【読む能力】 d:随筆文学の表現を分析し、随筆に描かれた情景、心情などを表現に即して読み味わい、書き手の意図を捉えて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 【知識・理解】 e:兼好と『徒然草』についての理解が深まっている。……行動の観察（発言）・考査 e:形容詞・形容動詞の活用について理解している。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
	漢詩を読む	1 近体詩の詩形・押韻・対句・一句の構成などについて理解する。 2 各詩について、形式・韻字・対句などを指摘する。 3 詩を繰り返し音読して、訓読上のリズムや表現上の特色（展開、情景と心情の描写など）に気づき、主題を読み取る。 教材：春望	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:詩に詠みこまれた情景や心情を読み味わい、主題を理解しようとしている。 【読む能力】 d:日本文学の詩や短歌・俳句とは違う唐詩の表現上の特色を把握している。 【知識・理解】 e:詩の諸形式や構成、対句や押韻について理解している。 e:詩の訓読上のリズムを身につけ、表現上の特色を理解している。 e:正しく訓読したり、また書き下し文に改めたりしている。 e:重要句形や比喩を理解している。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査

	評論の内容を理解する 3	1　生物多様性について論じた評論を読み、考えを深める。 2　キーワードを的確に読み取り、筆者の主張へと集約させる読解方法を習得する。 教材：生物の多様性とは何か （福岡伸一）	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:地球環境や生物多様性といったキーワードに関心を持っている。 【読む能力】 d:キーワードを手掛かりにしながら、論理構成を把握している。 d:地球環境という動的平衡を保つために生物多様性が必要だという筆者の主張を把握している。 【知識・理解】 e:指示語について正しく理解している。 e:地球環境や生物多様性にかかわる用語について理解している。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：定期考査
	小説の内容を理解する 3	1 「僕」の性格・心理・行動を的確に読み取る。 2　一人称の語りという表現形式の効果について考える。 教材：鏡 （村上春樹）	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:作者や作品の舞台となっている時代について調べたり、知っていることを発表したりしている。 【読む能力】 d:「僕」の行動と心理の変化を、時間に沿って理解している。 【知識・理解】 e:体験談を披露し合うという場面の設定と、語りの形式がもたらす効果について理解している。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：行動の観察（発言・ノート）と定期考査
	古文の物語を読む 2	1　昔話としてなじみのある作品を読み、古文に親しむ。 2　話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 3　口語訳の力を身につける。 4 「助動詞の種類と用法」を参考にして、助動詞のはたらき、活用、接続、意味を理解する。 5 『竹取物語』の求婚譚を読み、当時の社会の実相を理解する。 教材：竹取物語 『竹取物語』の求婚譚を調べる	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:『竹取物語』「かぐや姫」について調べたり、知っていることを発表したりしている。 a:昔話としての「かぐや姫」と古文作品の『竹取物語』の相違点などを読み取ろうとしている。 【読む能力】 d:登場人物の行動と心情を読み取っている。 d:本文を長編物語の一部分として理解している。 d:話の内容のおもしろさを理解している。 d:かぐや姫が結婚の条件として出した五つの難題とそれに対する貴公子たちの行動、結果をまとめている。 【知識・理解】 e:『竹取物語』について、文学史上の基本的な知識を持っている。 e:形容詞・形容動詞の活用について理解している。 e:助動詞のはたらきと活用について理解して、適切に訳している。	a：行動の観察 c・d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査

3学期	小説の内容を理解する 4	1　近代の代表的な小説を読んで、小説についての理解を深め、そのおもしろさを味わう。 2　生物の生と死について認識を深める。 3　志賀直哉に対する理解を深める。 教材：城の崎にて （志賀直哉）	○		○	○	○	【関心・意欲・態度】 a:わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 a:生と死について、考察を深めている。 a:志賀直哉の他の作品を読むなどして、理解を深めている 【書く能力】【読む能力】 c・d:登場人物の行動や考え方を物語の進行に即して読み、作品の提示する主題との関連性を理解している。 d:はち、ねずみ、いもりの死について「自分」はどのように感じているか、把握している。 【知識・理解】 e:人物設定や情景描写、表現効果を理解している。	a：行動の観察 c・d：記述の確認・行動の観察（発言）・考査及び定期考査 e：小テスト及び行動の観察（発言・ノート）・定期考査
	古文の歌物語を味わう	1「敬語法①」を読み、敬語法の基礎を理解する。 2『伊勢物語』のそれぞれの段について、歌がどのような場面で歌われ、またその歌にどのような心情がこめられているかに着目しながら内容を捉える。 教材：伊勢物語 　　芥川	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:古典の物語を、読み手を意識して適切な表現の仕方を考えながら、現代の物語に書き換え、書いた文章を読み合い、自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てようとしている。 【読む能力】 d:登場人物の心情や話に描かれた情景を想像しながら、表現に即して物語文学を読み味わっている。 d:和歌の果たす役割に着目しながら、人物・情景・心情などの表現に即して読み味わっている。 【知識・理解】 e:主な敬語の用法について理解して、適切に訳している。 e:古典の語句についての知識を広げている。	a：行動の観察・分析 d：記述の確認及び行動の観察（発言・音読）・考査 e：小テスト及び定期考査
	古文の日記文学を味わう	1『土佐日記』について、その設定に留意しながら、いつのどのようなことが書かれているのかを読み取る。 2「助詞の種類と用法」を参考にして、助詞について、種類やはたらき、現代語訳の際の留意点を理解する。 3　巻末の資料を読んで、古代の人々の生活についての基礎的知識を得る。 教材：土佐日記 　　馬のはなむけ	○			○	○	【関心・意欲・態度】 a:日記文学や紀行文、俳諧、また、その作者について興味・関心を抱き、描かれた情景や登場人物の心情を表現に即して的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。 【読む能力】 d:文章構成を確かめ、情景や登場人物の心情を表現に即して的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 d:季語や季節に留意し句にこめられた作者の心情を読み取り、心情面からの理解が深まっている。 【知識・理解】 e:助動詞のはたらきと活用について理解して、適切に訳している e:日記文学についての、文学史的な基礎的知識を習得し、読解に役立てている。	a：行動の観察 d：行動の観察（発言・音読）・考査 e：行動の観察（発言）・考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。